

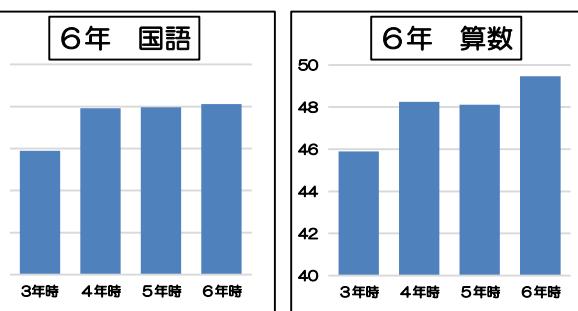
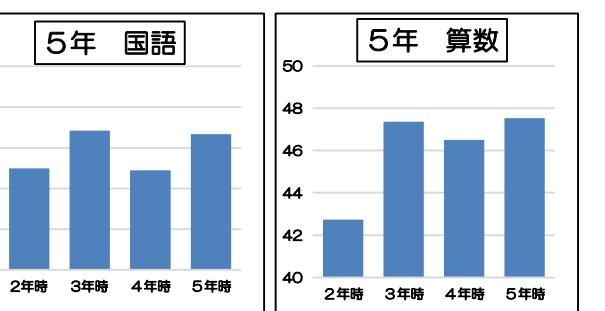
## (1) 調査の目的

- 児童一人ひとりが自らの学習の定着状況や学習状況を把握して、取り組むべき課題を明確にすること。
- 結果をもとに、各学校の学力向上や授業に関する取組み状況を検証し、指導体制及び指導計画の検討を図ることとともに、教員一人ひとりの指導に生かすことで、学習指導の充実を図ること。
- 本市教育委員会として、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本市児童の学力向上に資すること。

(2) 調査の対象学年・児童数 市内10小学校 第1～6学年全児童 ※第1学年は質問紙調査のみ  
第1学年 721人 第2学年 723人 第3学年 747人  
第4学年 694人 第5学年 740人 第6学年 745人

(3) 調査実施日 平成30年12月12日(水)

(4) 調査の内容 委託業者の標準学力調査(3学期版)を実施  
①教科に関する学習到達度調査(国語・算数の11月までの学習内容)  
②生活・学習状況に関する質問紙調査



3年は、国語、算数ともに前年度より全国平均との差が広がった。

4年は、国語、算数ともに2年時から3年にかけて全国平均との差が広がったが、今回は全国平均との差が縮まった。

5年は、国語、算数ともに前年度より全国平均との差が縮まった。算数では、過去4年間で最も全国平均に近づいた。

6年は、国語、算数ともに前年度より全国平均との差が縮まった。過去4年間で最も全国平均に近づいた。

## 学習到達度調査結果の概要

## 平均正答率

	2年	3年	4年	5年	6年	
国語	全国参加者平均	77.5	70.0	74.8	72.0	75.2
	摂津市平均	73.2	63.5	68.7	66.2	72.1
	目標値	75.4	68.0	70.2	68.8	70.7
算数	全国参加者平均	74.3	73.3	72.0	63.1	73.1
	摂津市平均	68.8	67.1	68.5	58.3	72.1
	目標値	72.2	71.9	70.4	62.2	71.4

## ※正答率とは

全問題数の内、何問正答したかをパーセントの形で表したものです。

## ※全国参加者とは

本調査に参加した自治体の児童のことです。

## ※全国参加者平均正答率とは

本調査に参加した全児童の平均正答率を表しています。

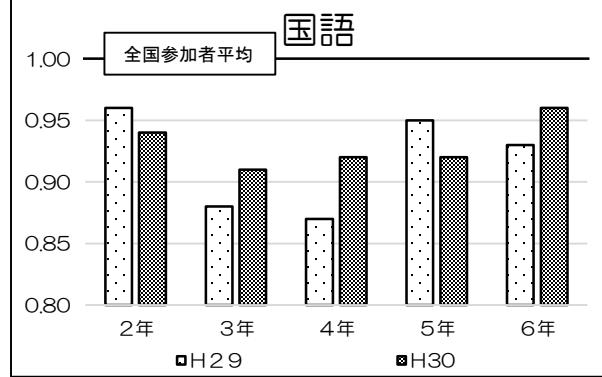
## ※対全国参加者平均比とは

全国参加者平均の数値を1としたときの摂津市の数値を表したもので

## ※目標値とは

標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した割合です。

## 対全国参加者平均比の経年比較

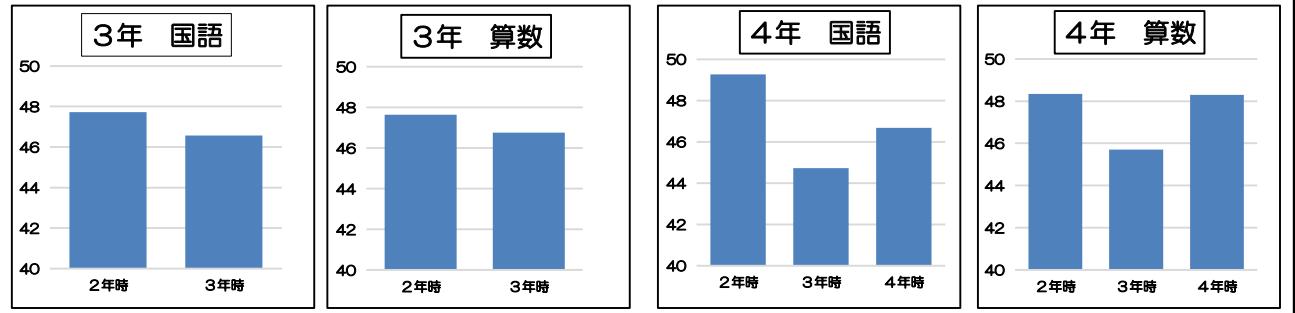


全ての学年・教科で、全国参加者平均を下回った。

国語、算数ともに、2年生、5年生で課題がみられる。

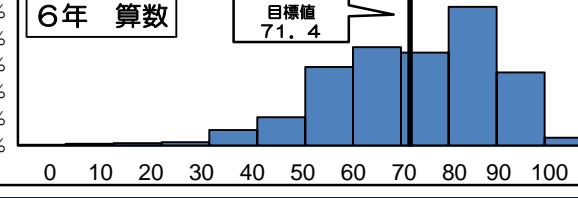
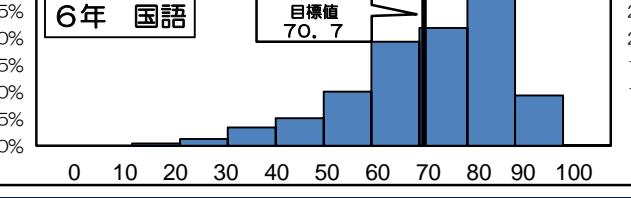
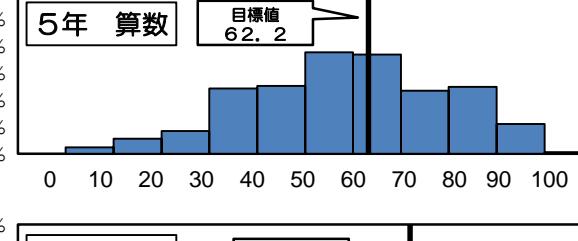
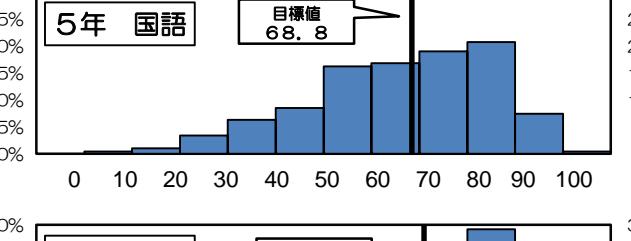
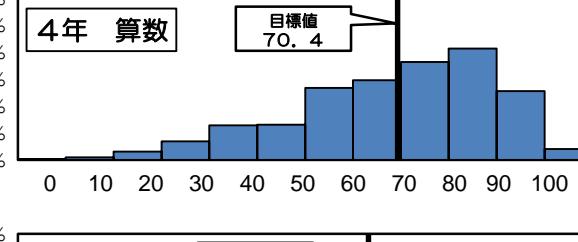
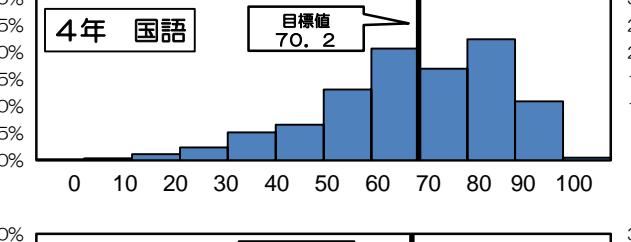
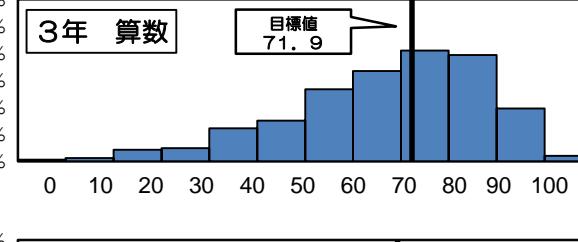
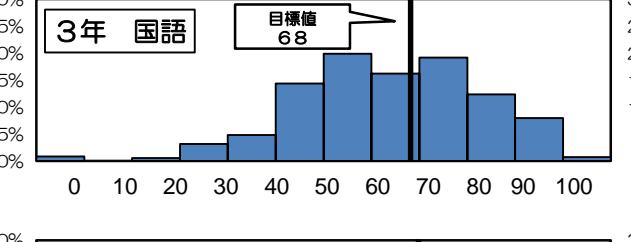
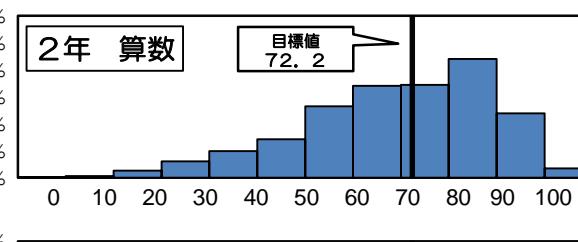
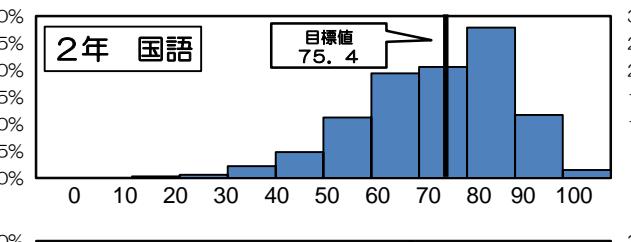
## 同一集団経年比較

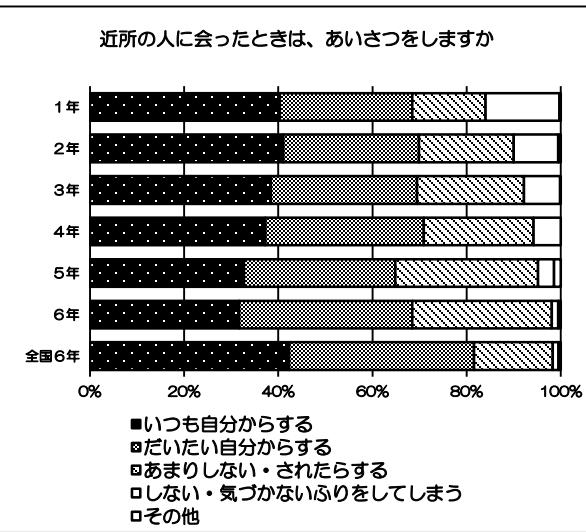
標準スコアによる同一集団経年比較です。全国平均を50とした場合の本市児童の平均です。  
3年は2カ年、4年は3カ年、5、6年は4カ年の変化をとらえます。



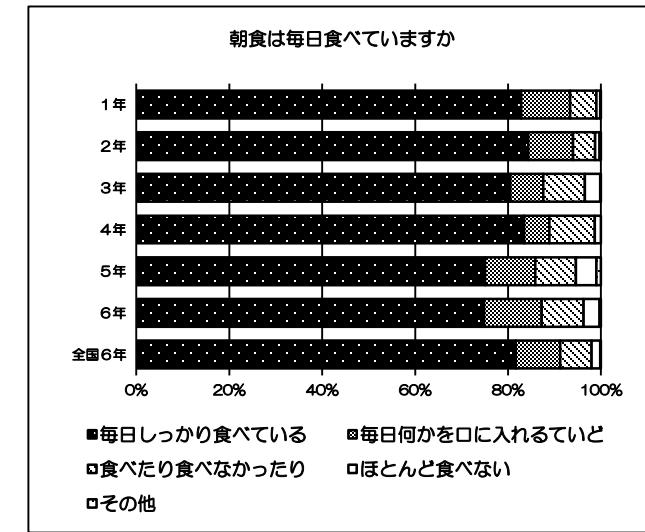
## 正答率分布

正答率分布とは、正答率の分布を見る資料です。

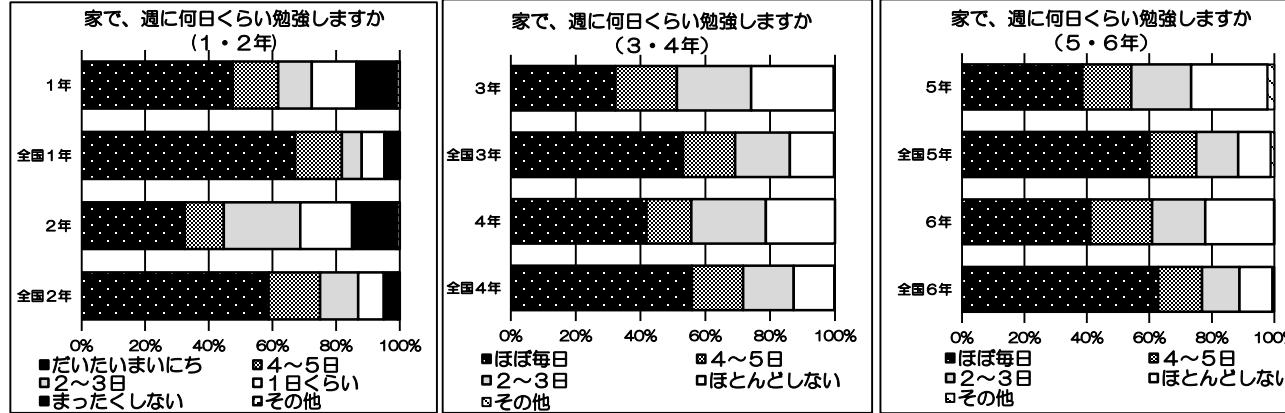




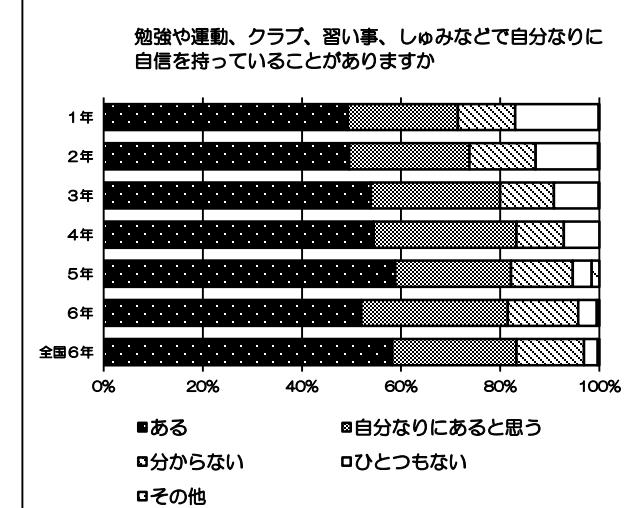
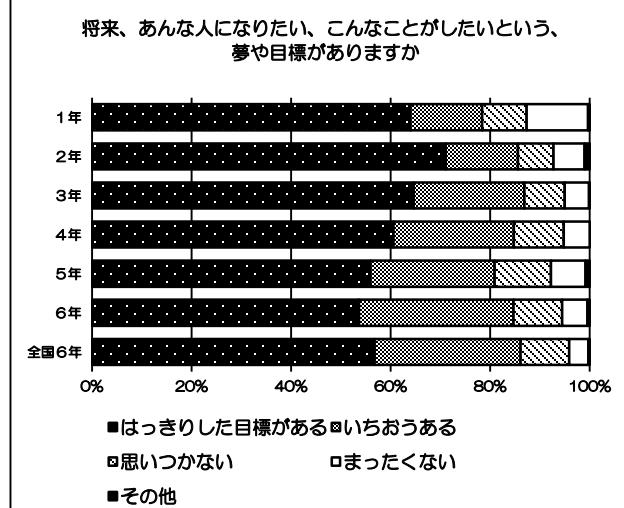
「いつも自分からあいさつする」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていく傾向にある。6年では、その割合が全国平均と比べて約10ポイント低い。



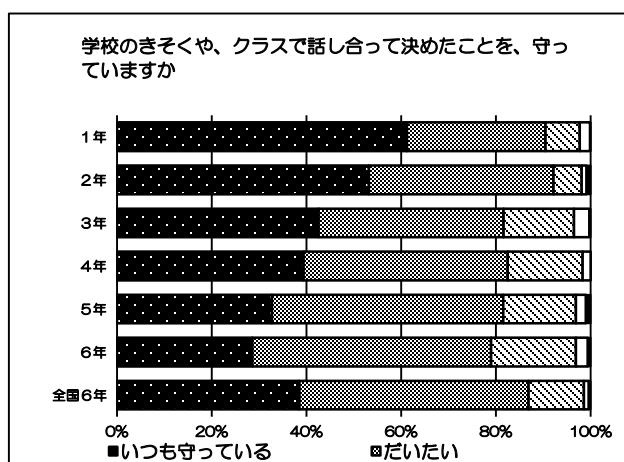
「毎日しっかり食べている」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていく傾向にある。6年では、その割合が全国平均と比べて約7ポイント低い。



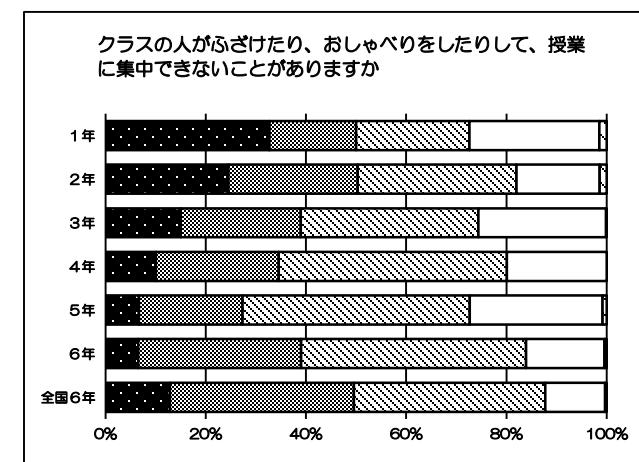
週に4日以上勉強すると答えた児童の割合は、全国平均と比較してどの学年でも少なく、その差は1、5年で約20~21ポイント、3、4、6年で約16~18ポイント、2年で約30ポイントに及ぶ。



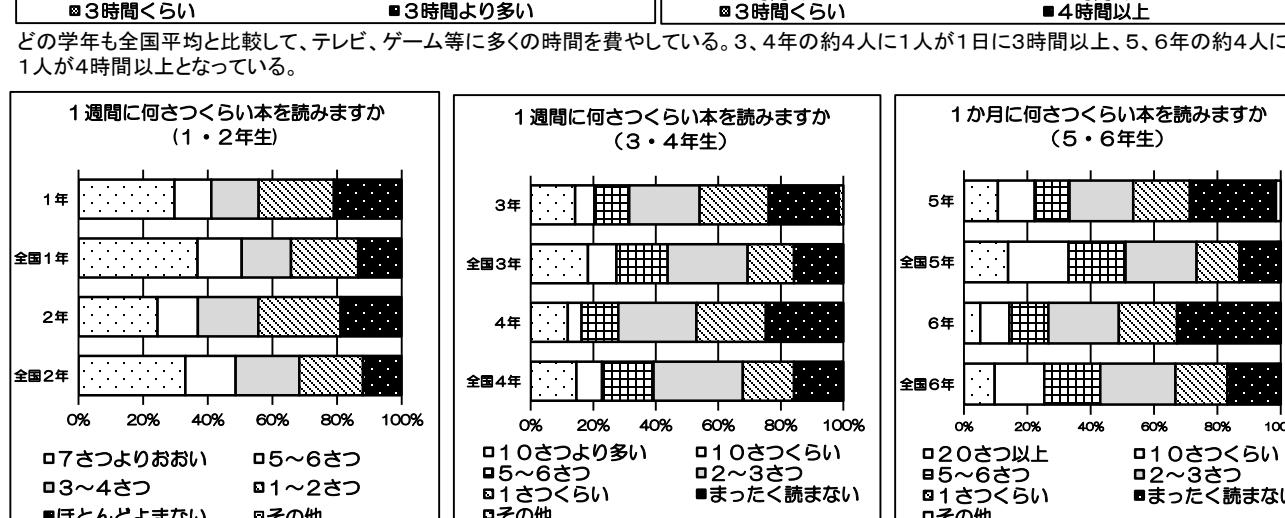
「ある」「自分なりにあると思う」と答えた児童の割合は、1、2年ではやや低いものの、3年以上では約80%を超えており、6年では、その割合が全国平均とほぼ同等の数値である。



「いつも守っている」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減っていく傾向にある。6年では、その割合が全国平均と比べて約10ポイント低い。



「一度もない」「ほとんどない」と答えた児童の割合は、学年が上がるにしたがって減少していくが6年になると増加する。6年では、その割合が全国平均と比べて約10ポイント低い。



全国平均と比較して、全学年において読書量が少ない。「ほとんど読まない」「全く読まない」と答えた児童の割合は、1、2年は全国平均より約7~8ポイント高く、3、4年は約7~10ポイント高く、5、6年は約15~17ポイント高い。